

平成27年度事業計画について

少子高齢化と過疎化による人口減少社会が進展する中、交流人口の増加と地域経済の活性化をもたらす「観光」の役割は極めて重要な分野であり、今後ますますの成長が期待されています。

平成26年度は、舞鶴若狭自動車道全線開通や北陸新幹線金沢開業など、新たな交通高速ネットワークの整備により、より広域的なエリアからの観光客の受け入れが可能となりました。また、本年10月には北陸デスティネーションキャンペーンが開催されることから、行政や観光事業者の方々と引き続き連携を深めながら、福井ならではの魅力ある地域づくりや広域観光ルートの造成に取り組みます。

また、JR金沢駅での観光情報の発信を強化するとともに、三大都市圏等での商談会や旅行会社への営業強化により、従来からの関西・中京に加え、首都圏や北陸新幹線沿線ならびに中・四国からの誘客を積極的に行います。

加えて、外国人に対する本県観光地へのツアー助成や、個性あふれる着地型旅行商品の造成を図り、国内外からの観光客の誘客を促進します。

平成27年度重点戦略

- 1 北陸新幹線開業後や10月からの北陸デスティネーションキャンペーンを見据え、三大都市圏や北陸新幹線沿線、中・四国、九州地方での観光客誘致活動を強化します。
- 2 地域や旅行会社と連携して観光素材の魅力アップを図り、福井ならではの旅行商品の造成に努め、誘客を促進します。
- 3 Web上での観光情報の発信強化を図り、誘客拡大に努めます。
- 4 台湾、香港、タイなどアジアからの観光客誘致活動を積極的に行います。

I 観光情報の収集と情報発信

1 ふくいドットコム運営管理事業 (8,569千円)【補助事業】

福井県観光情報ホームページ「ふくいドットコム」を運営・管理し、サイトコンテンツの一層の充実を図ることにより、本県への観光客の誘致拡大、物産の販路拡大を図る。

- ・観光地・物産等の情報掲載にかかるコンテンツ更新
- ・観光写真の追加
- ・デジタルサイネージの運営管理

2 福井の旬の魅力発信事業 (11,332千円)【補助事業】

観光客への情報を発信するため、県内の飲食店情報や観光情報を掲載したご当地フリーペーパーを制作し、県内の宿泊施設やレンタカー会社等に設置するとともに、大手宿泊予約サイトじゃらんや楽天トラベルでの特集ページの掲載、宿泊代割引クーポンの発行等により本県への誘客拡大を図る。

3 旬の魅力PR・発信事業 (1,760千円)

観光スポットや旬のイベント・食・土産等の具体的な情報を紹介した旅の特集を企画し、ホームページ「ふくいドットコム」で発信する。また、県外の旅行会社や旅行雑誌社および海外の旅行会社等に対して、「福井の季節イチオシ情報」(年4回)を発信し、旅行商品の造成を推進する。

4 広域観光助成事業 (862千円)

主要高速道路のサービスエリアに年間を通して旬の観光情報パンフレットを配架し、県内観光情報の発信を強化する。

配架先：長良川SA下り(東海北陸自動車道)

大津SA上り(名神高速道)

西紀SA下り(舞鶴若狭自動車道)

II 国内・海外の誘客推進

1 国内からの誘客

(1) ふくい観光誘客強化事業 (25,807千円)【補助事業】

①送客実績に応じた助成

県内で宿泊し、観光地を3か所以上訪問する等の基準を充たした旅行商品を造成し送客した旅行会社に対し、送客実績に応じて助成する。

②福井県をPRする特集記事への助成

福井県をPRする旅行パンフレットや特集記事の提案に対し、内容に応じて助成する。

(2) ⑧バスツアー造成促進事業 (2,000千円)【補助事業】

首都圏、中国・四国方面等からの新たな観光誘客を図るため、バスツアーを企画する旅行会社に対し、バス代を一部助成する。

(3) 県外観光商談会開催事業 (3,719千円)【補助事業】

東京、大阪、名古屋、広島において、県内の観光関連事業者が現地の旅行会社のキーマンと商談を行う機会を設定し、販路開拓を支援する。

(4) 現地メディアへの営業活動事業 (806千円)【補助事業】

本県への誘客促進を図るため、首都圏、北関東、中・四国、九州のメディアに対して観光PR等の営業を行う。

(5) ⑨福井を学ぶ体験旅行推進事業 (1,454千円)【補助事業】

三大都市圏、信越、中国・四国等からの修学旅行や合宿等の誘致を推進するため、旅行会社や大学等への営業訪問や修学旅行誘致のための視察助成を行う。

2 海外からの誘客

(1) 外国人観光客誘致拡大事業 (5,000千円)【補助事業】

海外からの観光客誘致を促進するため、台湾、香港、中国、韓国、タイ、シンガポール、マレーシアから小松空港利用の本県への旅行商品を造成する旅行会社に対し、送客実績に応じて助成する。

Ⅲ 地域活性化の推進と人材育成支援

1 地域活性化の推進

(1) 観光客誘致体制強化事業 (18,590千円)【補助事業】

民間の専門家を2名配置し、観光団体や旅行会社、JR等との連携により誘客を促進する。

特に、観光地の活性化、2次交通アクセス等課題への対応、旅行商品の売り込み、首都圏への営業活動や情報発信等を行う。

(2) JR金沢駅内福井県観光案内運営事業 (12,658千円)【補助事業】

JR金沢駅の「石川県金沢観光情報センター」内に福井県観光コンシェルジュを配置し、北陸・金沢を訪れる観光客に対し本県の観光地のPRを行い、誘客拡大を図る。

(3) 広域観光連携事業 (1,500千円)【補助事業】

中部および北陸の観光関係機関が広域的に連携し、国内および海外からの観光客誘致活動を実施する。

①北陸三県観光連盟共同事業

北陸3県観光連盟が共同で、首都圏旅行会社等への営業、メディアを活用した観光PR等を実施する。

②北陸三県誘客推進連携協議会への参画

北陸三県とJR西日本が連携し、首都圏・中京圏・関西圏等において北陸の魅力をPRするとともに、旅行会社への売り込みを行う。

③中部広域観光推進協議会への参画

中部9県3市の観光事業者や民間が広域に連携して商談会の実施や国内外で開催する観光PRイベントに参加し、国内および海外からの観光客の誘致を促進する。

(4) 着地型旅行商品企画販売事業 (9,500千円)

本県への観光客誘致拡大を図るため、地元の魅力ある観光資源を活かした着地型旅行商品の企画販売を行う。

(5) 優良観光土産品推奨事業 (1,351千円)

県内事業者から土産品を募集して推奨品を決定し、ホームページ等で紹介することにより、観光土産品の品質の向上とPRを行う。

(6) 地域活性化に取り組む団体の支援 (1,350 千円)

観光ボランティアガイドや地域で実施する観光セッション等への支援、および地域イベント等に対する後援・協賛を行う。

IV 組織運営

1 総会・理事会の開催

総会、理事会、正副会長会議、監事会等を必要に応じて開催する。

2 観光功労者等の表彰

観光振興に功績のあった団体・個人を表彰する。

3 観光連盟の活動紹介

ホームページ「ふくいドットコム」で連盟や会員の活動状況を紹介する。

4 関係団体の行う事業への負担金支出

(公社) 日本観光振興協会や中部広域観光推進協議会など、観光振興や地域の活性化を目的とした団体へ負担金を支出する。